

■ (公財)大阪市博物館協会 平成26年度外部評価委員会 評価シート

大阪城天守閣	担当委員名	瀧端 真理子
1. 「措置状況」について		
<p>【運営】大阪のシンボル、観光の拠点としての大きな役割を果たしながら、博物館としての諸活動を高い水準で行っていることは大いに評価できる。</p>		
<p>【学芸員】4人の学芸員で、尋常でない業務量をこなしていると思われる。その中で出張手続きの簡素化が行われたことは一歩前進だが、館の実績にふさわしい人数の学芸員補充・増員が行われていない。学芸員の勤務状況は過重であり、改善の余地がある。また、資料に示されている雇用形態別の職員数のバランスに問題はないのだろうか。</p>		
<p>【研究成果の公表】展覧会図録類販売以外の調査研究成果のHPでの公開が実現出来ていないが、研究成果のデジタル化と公開は、業者委託するか、あるいは今後、博物館群全体で取組む仕組みの構築が望まれる。</p>		
<p>【多言語・外国人サービス】外国語リーフレットの改訂版作成、HPや音声ガイドの多言語対応、多言語解説文の蓄積、海外旅行者等へのリーフレット提供、外国施設との交流等、海外からの来館者へのサービス向上と来館者獲得、国際化への継続的取り組みが行われていることを高く評価したい。</p>		
2. 【自己評価シート】《改訂版》について		
<p>【重点目標】指定管理期間の重点目標3点は、いずれも十分達成出来ていると判断する。</p>		
<p>【平成25年度実績】収蔵資料品数、常設展・特別展入館者数を含む博物館事業参加者総数、収入総額とも順調に増加しており、国内外での認知度、及び利用者の満足度が高いことが窺える。</p>		
<p>【若手学芸員の雇用】職員総数は22人まで減少した期間を含んでおり、特に学芸員数が少ないことは、今後、長期的に博物館事業を継続・拡大していくには大いに不安がある。</p>		
<p>【収支差額の活用】収支差額については、来館者がより快適に過ごせるような施設内設備の改修、HPの内容充実（特に調査研究成果の公開）、海外からの来館者対応、資料購入、調査研究活動等に、柔軟に活用してほしい。</p>		
3. これからのあり方についてのご意見		
①運営の基本事項・全般的な事項に関するもの		
<p>【大阪城公園PMO事業】市のHPに公開されている「大阪城公園パークマネジメント事業者募集要項」の資料IV「大阪城天守閣の管理運営に関する事項」によれば、学芸員は、調査研究業務に特化し、教育普及、市民・各種団体との連携、資料の収集保存・展示に対しては指導・助言を行う立場となるように読み取れるが、従来の展示や諸活動の質が維持できるよう、積極的な関与を行ってほしい。</p>		
②個別の事業等に関するもの		
<p>【来館者対応】イスラム圏からの来館者への配慮について検討していただきたい。</p>		
4. その他(設置者への要望等)		
<p>【運営】観光施設としては無休で運営することが期待されていると思うが、少数精鋭で運営している博物館として見ると、様々な面で無理が生じている。無理な運営は、事故の原因になる。施設のメンテナンスの観点からも最小限の休館日は必要であろう。開館日の在り方は、現場の事情に精通した博物館現場で判断・決定できる体制も重要である。</p>		
<p>【学芸員】若手学芸員を雇用し、現場のノウハウを継承出来るよう、市当局には長期的な視野に立った採用人事を望みたい。</p>		
<p>【組織】公園の中の施設、観光施設、博物館という多様な在り方のそれぞれがきちんと維持できるように、組織の在り方を検討してほしい。組織の変更は多くの労力を必要とする。組織のあり方が短期間で変わることは、現場に少なからずマイナスを及ぼす。長期的に組織体制が維持できるように十分な検討が行われることを期待す；；る。</p>		

【連携・協力体制】博物館協会による指定管理期間中、協会が管理運営する各施設との連携・協力がスムーズに行われ、連携・協力による新たな成果も生まれてきた。大阪城公園PMO事業によって指定管理者が変更されても、各施設との連携・協力が維持・発展できるように、必要な措置を講じることを要望する。

【大阪城公園PMO事業】これまでの天守閣の歴史博物館としての実績を尊重し、新指定管理者が、文化財の適切な取扱いや収集を行い、良好な保存環境、展示や教育普及活動の質を維持・発展出来るよう、十分な監督を行ってほしい。

【新しい観光客の受け入れ態勢】平成26年6月に、外務省からインドネシア、フィリピン、ベトナム、インドに対する訪日ビザ要件緩和が発表されている。特にインドネシア向けにはIC旅券事前登録を条件にビザを免除することが決定されている。大阪城公園にはインドネシアを始め、マレーシア、シンガポール等在住のイスラム観光客の増加も予想される。関西国際空港やホテル日航関西空港等の対応も参考にしつつ、大阪城公園全体及びレストラン等周辺商業施設での多文化理解・交流を市としても積極的に支援してほしい。